

祇園小唄

作詩】長田幹彦
作曲】佐々紅華

1 月はおぼろに東山
霞かすむ夜毎(よごと)のかがり火に
夢もいざよう紅桜
しのぶい思いを振袖(ふるそで)に
祇園恋しや だらりの帯よ

2 夏は河原の夕涼み
白襟(えり)あしほんぼりに
かくす涙の口紅も
燃えて身をやく大文字(だいもんじ)
祇園恋しや だらりの帯よ

3 鴨(かも)の河原の水やせて
咽(むせ)ぶ瀬音(せおと)に鐘の声
枯れた柳に秋風が
泣くよ今宵(こよい)も夜もすがら
祇園恋しや だらりの帯よ

4 雪はしとしとまる窓に
つもる逢(お)うせの差向(さしむか)い
灯影(ほかげ)つめたく小夜(さよ)ふけて
もやい枕(まくら)に川干鳥
祇園恋しや だらりの帯よ

祇園小唄

1

月はおぼろに東山
霞(かす)む
夜毎(よごと)の
かがり火に
夢もいびよう紅桜
しのぶ思いを
振袖(ふらぬい)に
祇園恋しや
だいららの帯よ

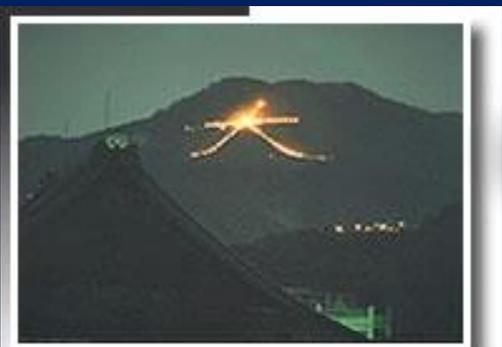


祇園小唄

祇園小唄

2

夏は河原の夕涼み
白い襟(えり)あし
ぼんぼりに
かくす涙の口紅も
燃えて身をさく
大文字(だいもんじ)
祇園恋しめ
だいららの葎(わら)よ



祇園小唄

3

鴨(かも)の河原の

水やせて

咽(むせ)むせ(ぶ)

瀬音(せおと)に鐘の声

枯れた柳に秋風が

泣くよ今宵(いよ)も(こ)も

夜もすがら

祇園恋しや

だららの帯よ



祇園小唄

4

雪はしよしとよめる窓に
つもる逢(お)うせの
差向(さ)しむかい
灯影(ほ)かげ(つ)めたく
小夜(さ)よ(ふ)けて
もやい枕(まくら)に川千鳥
祇園恋(ぎ)しや
だいららの葎(わら)よ

